

『ケアの指針』

私たちは、以下の指針に沿ってご利用者様へのケアを行います。

①尊敬の意をもってご利用者様と接します

ご利用者様は私達よりずっと年上の人生の先輩の方々です。お声掛けや話をする際には尊敬の意を忘れずに、言葉遣いには十分に気を付け、名前は敬称で呼びます。あだ名や「ちゃん」付けて呼ぶ事や、子供を叱るような口調で話す事は絶対にしません。

ご利用者様とお話する際は、同じ目線で会話をします。

②受容と共感をします

ご利用者様の言動には必ず理由があります。その言動を職員がしっかりと受け止め（受容）、どうしてそのような言動に至ったのか考え（共感し）、ご利用者様の期待に沿うよう対応にあたります。

③換気をします

感染症対策の為、定期的に外の空気を取り入れます。寒い時期の換気は、換気後の加湿が高い温度を保つのに効果がある為、出来る限り適温を保つように工夫をし、換気を行います。

④ご利用者様に合った食介方法と食形態の食事を提供します

食事介助を行う際はご利用者様の咀嚼や嚥下の速度に合わせて職員が必ず座って食事介助を行い、ご自分で召し上がれる方は出来るだけご自分で召し上がって頂くよう声掛けを行います。

また、適切な食形態の食事がご利用者様に提供できるよう、食事時の様子をしっかりと観察し、必要に応じて食形態の変更やトロミ剤の使用を行います。

⑤服薬は食後に行います

特別な理由が無い限り、服薬は食後に行います。服薬介助はご利用者様の命にかかわる事です。用量・用法を守り、必ずご利用者様お一人ずつ準備し、お名前を確認した上で服薬を行います。

⑥車椅子や椅子で過ごして頂く際には、床やフットレストに足を付けて座って頂きます

床やフットレストに足を付けて座る事は、良い姿勢を保つ為にも大切です。良い姿勢は、食事時の誤嚥の予防にも繋がります。フットレストや足台を利用し90度に曲げて座って頂くようにします。姿勢保持が難しい場合は、クッション等を利用し、良い姿勢を保持します。

⑦ご利用者様に合った排泄方法とパットの選定をします

排泄介助はご利用者様のADLに合わせて行います。ベッド上での排泄介助を出来るだけ減らし、ト

トイレに座って排泄を行える方は出来るだけトイレに座って頂き、場合によっては2名介助で、排泄介助を行います。パットを選定する際は、尿量・排便量以外に、陰臀部の状態にも合わせて、適切なパットを選定し使用します。また、ご利用者様の状態変化が見られた時は、随時使用するパットの見直しを行い、適切なパットを使用します。

⑧排泄介助の際は衛生面に配慮します

ズボンやリハパンを下すだけ、パットを取るだけと言うような軽作業でも素手ではなく必ずディスポグロブを着用します。また、使用済みの清拭やパットを汚物室に持って行く際は、感染症予防や臭い拡散防止の為、フタのある密閉できる容器（バケツ等）に入れ汚物室まで持って行き捨てます。バケツ等に入れず袋のまま持っていく事はしません。

⑨ご利用者様の羞恥心に配慮します

トイレ誘導の際はドアを閉める、居室での排泄介助・着替えの際はカーテンを閉める、脱衣場のカーテンは不用意に開けない、と言うように、ご利用者様の羞恥心には徹底した配慮をもって対応します。特にトイレでの排泄介助中はご利用者様のプライバシーを守り、介助者が離れても安全対策を忘れずに行いトイレに座って頂きます。

⑩入浴はご利用者様お一人お一人の時間を大切にします

ご利用者様一人に対し、一人以上の介助者が責任を持って、入浴開始の誘導からユニットに戻るまでの入浴介助を行います。介助者一人が同時に二名のご利用者様を誘導したり、一人の介助者が二名のご利用者様を入浴させるような事は絶対にしません。また、出来るだけ多くのご利用者様が個浴の浴槽に入れるよう、ご利用者様のADLをしっかりと見極めて入浴順や入浴日を決めていきます。

⑪楽しい時間を提供します

ボランティアさんの力も借りて、ご利用者様にレクリエーションの時間を作ります。その月がお誕生月のご利用者様がいらっしゃる時は、ユニットで誕生会を行います。

季節ごとのイベントは、ボランティアさんだけでなく色々な部署の職員が一緒になってご利用者様が楽しんで頂ける時間を提供していきます。

好天候の時はご利用者様の要望があれば日光浴や車椅子での散歩も行います。

⑫チームケアを大切にします

ご利用者様対応や日々のユニット業務について、気付いた事やそれに対する対応の提案・実行は一人の判断で勝手には行いません。必ずリーダーやリーダークラスの職員に報告・相談したのち、決定事項としてユニットに申し送りを行い、ユニット職員全員で取り組みます。